

令和5年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

- 1 開催日時 令和5年10月17日(火) 15:00～17:00
- 2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第一委員会室
- 3 対象施設 青森市りんごセンター

4 出席者

(1) 選定評価委員会

- 委員長 白戸高史(企画部次長)
- 副委員長 工藤拓実(総務部次長)
- 委員 池田享誉(青森公立大学准教授)
- 委員 兼平浩美(東北税理士会青森支部税理士)
- 委員 泉宏明(環境部次長)
- 委員 土岐政温(都市整備部次長)
- 委員 武井秀雄(教育委員会事務局教育次長)

(2) 施設所管課(あおり産品支援課)

- 課長 成田敬三
- 主幹 成田俊治
- 技師 中村康太

(3) 制度所管課(財政課)

- 副参事 岩淵寿哉
- 主幹 宮崎恭次
- 主査 櫻田博光
- 主査 滝口貴史

5 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 青森農業協同組合
- ・住所 青森市大字羽白字富田190-4
- ・代表者 代表理事組合長 長谷川 春樹

(2) 指定期間

令和6年4月1日 から 令和11年3月31日 まで（5年間）

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた得点（87.08点）が最低基準点（71点）以上を獲得していること。

7 主な質疑内容

【管理運営方針】

委員：収支予算について、産業廃棄物の処理に関する経費は一般廃棄物の処理に関する経費とは別に積算しているのか。

応募団体：別に積算している。

委員：入庫数量確保のためにわい化樹への改植を推進するとあるが、現状わい化樹への導入は進んでいるのか。

応募団体：こちらが想定しているペースでは導入が進んでいないため、入庫数量の確保に向け、現在新しく開発されたわい化樹と普通樹の中間の樹木も活用していく。

委員：応募者から、わい化樹への改植を推進すると提案があったが、市としてもわい化樹への改植を推進しているのか。

応募団体：市としても「青森市果樹産地協議会」を発足し、わい化樹への改植を推進している。

【職員の雇用・労働条件について】

委員：職員の月曜日から金曜日までの労働時間が35時間（1日7時間×5日）であると思うが、残りの5時間は土日に勤務しているのか。

応募団体：はい。

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

委員：災害発生時に備え、段ボール製ベッドを備蓄するというのは応募団体独自の取組か。

応募団体：はい。

委員：令和6年度の収入が他の年度よりも高くなる見込みであるが、その増収分を段ボール製ベッドの購入に充てるということでしょうか。

応募団体：はい。令和7年度以降もその他に必要なパーテーション等を購入する予定である。

委員：青森市りんごセンターは市の指定避難所に指定されていないと思うがどのように対応する予定か。

施設所管課：現状は指定されていないので、まずは施設で勤務している職員と施設利用者のための段ボール製ベッド等を準備し、今後指定避難所に指定された際には追加で避難者の受け入れ分を準備する予定と伺っている。

委員長：段ボール製ベッドについては指定管理業務とは直接関係しないので、仮に市の指定避難所に指定されたとしても市で準備すべきと考える。そのため段ボール製ベッドの購入分の経費については見直す必要がある。

施設所管課：当該経費についてどのような経費に充当するか今後検討していく。

【りんご生産者等の平等な利用を確保するための方針】

副委員長：施設の見学について観光客の受け入れを行っているか。また施設見学は無料か。

応募団体：観光客の受け入れも行っている。施設見学は無料である。

副委員長：今後施設見学を有料にする考えはあるか。

応募団体：有料にする考えはない。

【収支計画】

委員長：令和 6 年度の収入が他の年度の収入に比べて高い見込みとなっているが、これはなぜか。

施設所管課：周辺の類似施設が令和 6 年度に一時的に使用できなくなることで、その施設に入庫されていたりんごの一部が青森市りんごセンターに入庫される予定であり、それに伴う一時的な収入の増を見込んでいる。